

視察関連 ヤード（自動車解体施設等）対策について

- ・ヤードを視察していただいたが、こうした施設が急激に増えたことで地元でも様々な問題が生じ心配の声が上がっている。三重県として対策を講じていただきたい。

知事の回答

- ・現場にて乱雑にうず高く積み上げられた、いつ崩れ落ちてくるかのような状況を見て、町民が不安を感じられているのがわかった。またヤードに限らず、敷地からはみ出て畑に停めるなど、住民の生活環境を脅かす状況も確認できた。昨年の1対1対談での要望や町議会からも意見書をいただいております、県として条例の制定に向けて検討を進めていく。

対談項目1 鍋田川地震高潮対策事業について

- ・鍋田川右岸堤防の緑風橋から鍋田川下水門までの区間についても、引き続き着実に工事の進捗を図っていただきたい。
- ・鍋田川下水門の耐震対策と水門の安全確実な操作ができるよう、愛知県に対し早急に働きかけていただきたい。
- ・木曽川左岸堤防耐震工事について予算確保と事業進捗を国に要望していただきたい。

知事の回答

- ・「防災減災国土強靱化のための3か年緊急対策」が今年度で終了となるので、対策の延長とともに予算の増額について働きかけながら事業進捗を図りたい。
- ・水門は共同管理となる愛知県と情報共有し、しっかりと予算を確保するとともに、有事の際の自動閉門についても検討していきたい。

対談項目2 木曽岬・弥富停車場線道路改築事業について

- ・県道バイパスと町道雁ヶ地・福崎線がともに今年度供用開始できるよう、確実な事業進捗をお願いしたい。
- ・国道23号を交差し、町の南北をつなぎ町の軸となる県道バイパスの北への延伸をお願いしたい。
- ・名古屋第三環状線についてはいまだ事業化されていないが、愛知県との協議について知事のお考えは。

知事の回答

- ・国道23号から町道に接続する第1工区については、今年度内に供用開始できるよう進めていきます。中央幹線水路に向かう第2工区については、令和2年度は用地測量に着手する予定である。さらにその先の区間については第2工区の状況を見ながら愛知県や町との協議を進めていく。
- ・名古屋第三環状線について、早期の事業化に向け引き続きしっかりと愛知県との協議を続けていく。

※当日の様子は三重県ホームページにてご覧いただけます。

<https://www.pref.mie.lg.jp/MOVIE/11001500018.htm>